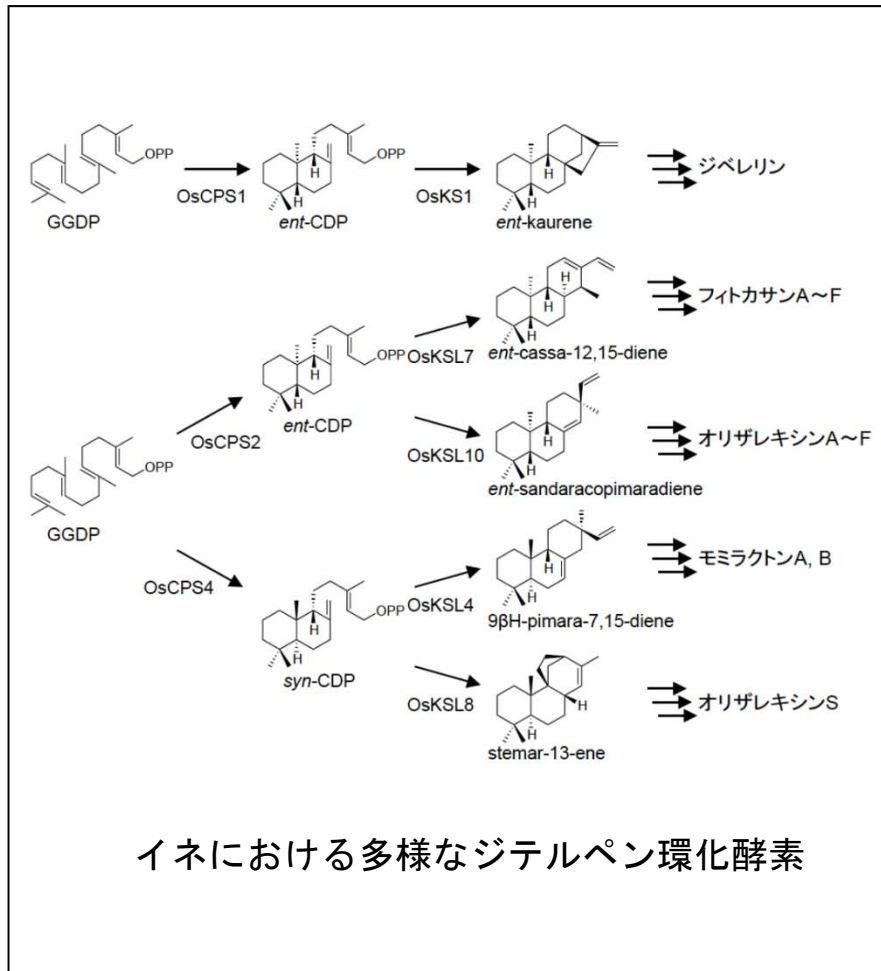


受験生の皆さんへ

# 『ジテルペノイド生合成酵素に関する分子生物学的研究』

山形大学農学部食品・応用生命科学コース

教授 豊増 知伸 (TOYOMASU, Tomonobu)



内容;テルペノイドは、これまで数万におよぶものが単離・同定されている多様な構造と生理活性を有する天然有機化合物群です。そのなかで炭素数20個を基本とするものはジテルペノイドとよべれます。栽培イネは、高等植物の生長を制御する植物ホルモンのジベレリンだけではなく、多様なジテルペノイドを生合成することが知られていますが、そのなかにはモミラクトン、フィトカサン、オリザレキシンといった病害抵抗に関わるフィトアレキシンも含まれます。本研究室では、世界に先駆けて、これらイネのジテルペノイドの炭素骨格形成に関与するジテルペン環化酵素遺伝子を全て機能同定しました。

専門分野: 分子生物学・生化学

自己紹介: 物質により生命現象が制御されることに興味をもちています。

連絡先: 0235-28-2861

e-mail : toyomasu@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

